

校友会は統一できたけれど!

開店休業時代

阿部勉

校友会の発展の陰には数多いエピソードがあるが、中でも戦時中を通じて竹中氏、阿部氏のなみなみならぬ努力は校友会回顧録の一頁をひもとく上で決して忘れることの出来ないものである。

その頃は戦局多端のため歯科医業に限らず、全体的ものが全く戦争遂行という美名のもとに停滞状態を呈していた。

しかしそのような困難な歯科医政史の中でもわが大歯校友会はじよじよにはあるが現在の発展した母体を躍動させていたのである。

その頃の大歯校友会がどのように苦難に満ちた道を進んで来たか! われわれにとってはきびしい教訓でもあるのである。

以下は校友会創設時代の立役者の語る思いの語の数々である。

この前の「高橋旅館の血闘」が好評だったのでアホが勝手に乗るのじゃないがそのことを少し書いてみたい。

「高橋旅館の血闘」が好評だったのでアホが勝手に乗るのじゃないがそのことを少し書いてみたい。



阿部 勉氏

但し高橋旅館というのは私の記憶で竹中氏や石岡氏から注意を受けたが、アホは加藤旅館なので訂正する……俺も少しボケて来たかな……

昭和十七年の何月だか、それまでの役員分、阪神分、播磨分が母体の要請で合同してまがりなりに兵庫県支部が出来上がった。初代支部長は長田区の一平の清水正雄氏、副支部長に尼崎の同僚一回平の石上藤氏がなつた。

但し高橋旅館というのは私の記憶で竹中氏や石岡氏から注意を受けたが、アホは加藤旅館なので訂正する……俺も少しボケて来たかな……

戦局急迫で総会もチャイ

「戦局急迫で総会もチャイ」

私にはあつて立上りが「役員は任期満了のはずだが役員改選は日総会をやり直せ」という強硬意見を出されて審議が出来るか! 他

「戦局急迫で総会もチャイ」



松茸の香ただよう会場に向う摂津分会々員

協議と行楽の総会

大歯校友会摂津分会

協議と行楽の総会

大歯校友会摂津分会

協議と行楽の総会

開店休業の再現はもうごめん

開店休業の再現はもうごめん

竹中氏から相談があった時は私に「君にどういふことを進言するは忍びないことだが大歯の将来というのを考える時、懇情に心をよぶ動機は」と思ふ。一億総決起の叫ばれている折、役柄に拘泥せず努力することこそむしろ大歯の大きな機軸を示すことになり、大歯の将来にプラスになるのではあるまいか。

「開店休業の再現はもうごめん」

腰弁持参の役員会時代

腰弁持参の役員会時代

「お前たち有線無線がゴチャゴチャたさん役員になったりするから紛争が絶えないんだ。最小限の人数でやらせろ」という厚生役員はお上からの任命でありながらオエラの方針によるもので、それにしても委員も切ない。竹中副会長は実は初め予定された役員会に承認を得なければならぬという妙な条件がついていていなかた。最初は現在四国におられる平島正氏の予定であったが代議員会でどうしても平島氏だけは承認を得られなかつた。

「腰弁持参の役員会時代」

近代野球への脱皮

二十一年に改名し再スタート

名田昌弘

近代野球への脱皮

二十一年に改名し再スタート

名田昌弘

昭和八年以来十二年の花々しい足跡を残したODC野球クラブの再建を考へていた矢先、津田象治という同士を得て二十一年秋めでたく「兵庫歯科大学野球クラブ」のチーム名を山陽鐵道との対戦皮切りにスタートした。

学團的色彩を除く意味で大歯出身者のみに限らず門戸を開けて

第二次世界大戦に終止符を打った昭和二十年八月十五日以来、全く失意と虚脱の世の中であった。しかし翌年にはあらゆる機構は改革され民主国家への転換とともに歯科界もGHQ指令によって新歯科医師会の設立が立ち上がった。

昭和八年以来十二年の花々しい足跡を残したODC野球クラブの再建を考へていた矢先、津田象治という同士を得て二十一年秋めでたく「兵庫歯科大学野球クラブ」のチーム名を山陽鐵道との対戦皮切りにスタートした。

学團的色彩を除く意味で大歯出身者のみに限らず門戸を開けて

「開店休業の再現はもうごめん」

竹中氏から相談があった時は私に「君にどういふことを進言するは忍びないことだが大歯の将来というのを考える時、懇情に心をよぶ動機は」と思ふ。一億総決起の叫ばれている折、役柄に拘泥せず努力することこそむしろ大歯の大きな機軸を示すことになり、大歯の将来にプラスになるのではあるまいか。

「開店休業の再現はもうごめん」

英、緒氏京城から大歯に入会

英、緒氏京城から大歯に入会

姫路支部の英次郎氏、明石支部の緒方新氏はともに京城歯科出身であったがこのほど大歯校友会兵庫支部に入会したので十一月十日付で本部理事会で承認され、校友として活躍することになった。

「英、緒氏京城から大歯に入会」